

創

souki

喜

第48号

平成26年8月

発行：株式会社 **MI** ミヨシ・ロジスティックス
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢2129-4
TEL 042-779-6619 FAX 042-779-9594

<http://miyoshi-log.co.jp/>

人手不足の対策急務 「空き家」が示す人口減少

「超高齢社会」でどう変わる？

総務省統計局は平成26年7月に、「平成25年住宅・土地統計調査（速報集計）」を発表しました。この調査は5年毎に行われている調査で、住宅の戸数や、空き家率、高齢者等のための設備があるかどうか等、様々な住宅に関する情報の統計データです。今回の調査では、総住宅数は6063万戸でした。前回の調査から305万戸増加しています。他にも興味深い調査結果がいくつか出ておりますので、内容をご紹介します。

その他設備を設置した等、平成20年の前回の調査に比べ240万戸増加しています。

2点目は、空き家率が13.5%で820万戸と過去最高であったことです。空き家がそのままにされていること等が原因として考えられます。

現在は都道府県や地方自治体によって、空き家の賃貸・売却を希望する人に紹介する制度である「空き家バンク」が推進されています。神奈川県は、自然の豊かな地域を中心に紹介を行っているようです。

さて、この2点は住宅の買い替え等の要因も



（写真提供：株式会社MI）

考えられますが、人口減少や超高齢社会を表現しているとも言えます。

両親の高齢化に伴い、結核に悩むために設備を整えたり、高齢者の一人暮らしで亡くなったあとの空き家がそのままにされていること等が原因として考えられます。

高齢化・人口減少は既に始まっており、総務省の平成24年の推計によると平成72年（2060年）には日本の総人口は8674万人

か、慢性的な国道16号と129号の渋滞緩和も見込んでいます。

また、開通により、都心経路や一般経路だった広域交通が転換。圏央道が「環状道路」としての機能を発揮するとしています。

一方、物流分野では大幅な効率化につながり、

（記事提供：かながわ経済新聞社）

圏央道開通の効果 渋滞緩和見込む

国土交通省

圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の相模原愛川IC（インターチェンジ）～高尾山IC間（延

長14.8キロメートル）が開通し、本格的な運用が始まっている。

開越道が直結。国土交通省・相模国道事務所によると、東海や北関東への移動時間が短縮されるほ

幅な効率化につながり、

人になるものと見込まれています。

また、企業で働く人や経営者の方にとつての懸念は、実際に働ける労働力人口の減少です。生産年齢人口（15～64歳の人口）は平成22年（2010年）の63.8%から減少を続け、平成29年（2017年）には60%台を割った後、平成72年（2060年）には50.9%（約4400万人）になると推測されています。

一方、高齢人口（65歳以上の人口）は、平成22年（2010年）の29.48万人から増え続けており、平成72年（2060年）には3464万人となる予測です。

人口全体の減少により経済縮小も心配されますが、そこでキーワードとなるのが高齢者の社会参加です。

時間短縮や広域配送に寄与すると見込んでいます。

全日本トラック協会は「運転手の拘束時間の短縮のほか、3環状道路の整備による広域配送が可能になる」とコメントしている。

（記事提供：かながわ経済新聞社）

（編集：岩間美佳）



（写真提供：株式会社MI）

加や労働、外国人労働者の受入など、国内外から労働力人口を集めようという動きがあります。

当社でも過去に外国人実習生の受け入れ実績があり、今後の国内情勢を見据え、外国人労働者、高齢者の働き方等について、月に一度情報を集め共有しています。

いつも「創喜」をご覧いただきありがとうございます。8月も終わりが近づいてまいりました。

当社もまだまだ暑さが続きそうですね。引き続き熱中症に注意してお過ごしください。

さて、今回は編集担当の話を書かせて頂きます。入社してから一年が経ちますが、沢山の経験をさせて頂き充実した時間を過ごしております。

私にとって当社は2社目で、業種も職種も違ったので、入社してから経験することのほとんどが初めてのことでした。

総務の定常業務に加え、請負現場での作業研修や月に一度の勉強会、資格取得等、わからない中についていくことで一杯でした。

初めての経験の中で勉強になったことも沢山あり、変化の一年でした。

社内の方に様々なフォローをして頂いたり、社長から直接指導して頂いた

編集後記

りと思われた環境の中で仕事が出来たことを有り難く感じています。

当社の経営理念の中にもある「挑戦し続ける」ということは大変難しいことだと実感しております。自分を成長させる、変化に対応するのはエネルギーが要ることです。

うまく自分をコントロールして、日々の定常業務に限らず、何かに挑戦しながら取り組んでいきたいと思っております。

この社外報も、社内報から生まれ変わり今月で8度目の発行です。毎月私が原稿を書いています。

が、ニュースを発見すること、作り出すことや、継続して発行することの難しさを感じています。

当社の魅力がお伝えできそうな社外報づくりをして参りますので、今後とも、ミヨシ・ロジスティックス並びにこの「創喜」をどうぞ宜しくお願い致します。

（編集：岩間美佳）

株式会社 **MI** ミヨシ・ロジスティックス

移り変わる時代の中で お客様のニーズに応える

<http://miyoshi-log.co.jp>

株式会社ミヨシ・ロジスティックス
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 2129-4
TEL. 042-779-6619 FAX. 042-779-9594

第二工場
〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1157-3
TEL 042-775-7550 FAX 042-775-7551